# 目次

第	] 草	凶形を極める()	1
	1 — 1	□ 図形を画像で塗りつぶす	3
	1 - 2	2 図形を変更する	5
	1 - 3	3 図形をテクスチャで塗りつぶす(既定のテクスチャ)	8
	1 - 4	1 影を編集する	10
	1	影の編集画面を表示する	10
	2	影の大きさを変更する	11
	3	影の色を変更する	12
	4	影の色の透明度を変更する	13
	5	影の編集画面を閉じる	13
	1 - 5	5 図形をパターンで塗りつぶす	16
	1 - 6	6 図形をテクスチャで塗りつぶす(その他のテクスチャ)	21
第	2章	表を極める	26
	2 - 1	L 表の列幅を整える	28
	2 - 2	2 表全体の罫線を非表示にする	29
	2 - 3	3 罫線の種類・色・太さを変更する	31
	2 – 4	1 段落番号を自由に編集して設定する	37
	2 - 5	5 段落を変えずに改行する	39
	2 – 6	3 段落番号の数字を振り直す	42
	2 - 7	7 ぶら下げインデントとは	43
	2 - 8	3 ぶら下げインデントを設定する	44
第	3章	ヘッダーとフッターを活用する	49
	3 - 1	し画像の明るさとコントラストを調整する	52
	3 - 2	2 画像のフチを削る(トリミング)	54
	3 - 3	3 箇条書きを設定する(任意の記号)	57
	3 – 4	1 箇条書きを編集する(画像に変更)	59
	3 - 5	5 表の列幅を固定する	64
	3 – 6	ら ヘッダーとフッターとは	67
	3 - 7	7 ヘッダーとフッターを編集する	69
	3 – 8	3 ページ番号を挿入する	72
	3 – 9	9 複数ページを1枚の用紙に印刷する	74

## テキストの作成環境

OS · · · · Windows 10

ソフト・・・・・・ Microsoft Word 2019 (365) 及び2016 及び2013

画面解像度・・・ 1024×768 または 1280×1024 で作成

※ 画像内の段落記号( μ ) のサイズは、2013 のものも混在します。

# 第1章 図形を極める①

本章では、図形の書式で、グラデーション、テクスチャ、パターン、画像で図形を塗りつぶす方法などを学びます。

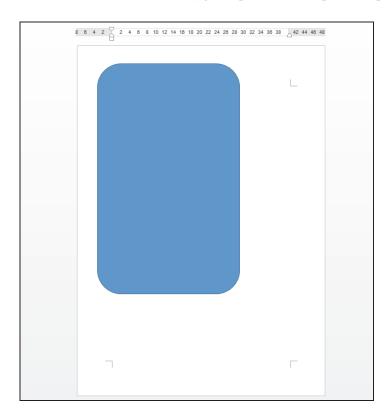
### 【完成例】



次ページから、手順に沿って作成していきましょう。

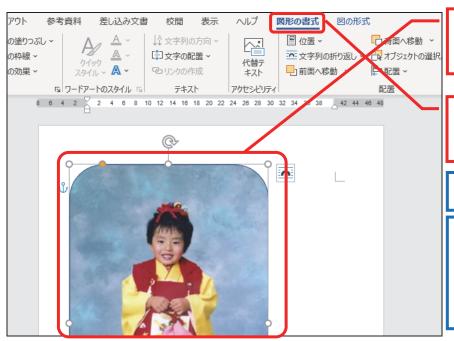
## ● 文書作成の準備をする

- ① ワードを開いて、新規文書を用意しましょう。
- ② 表示倍率を [ページ全体を表示] に設定しましょう。
- ③ 下図のとおりに、図形を挿入しましょう。
  - 挿入する図形・・・・ [四角形:角を丸くする](2013は[角丸四角形])
  - サイズ・・・・・・ 高さ [195 mm]、幅 [120 mm]



### 1-2 図形を変更する

挿入した図形を、書式は残したまま、別の図形に変更します。 挿入した角丸四角形を八角形に変更してみましょう。



- ① 変更したい図形を 選択します。
- ② [図形の書式] を クリックします。
- ※ 2013は[書式]
- ※ 2013 の場合 [書式] が2つある 場合は [描画ツール] の方を選択します。



③ [図形の編集] をクリックします。



- ④ [図形の変更] を ポイントします。
- ⑤ 変更後の図形を クリックします。例: ⑤ [八角形]



## ● 図形を変形する

① ● [調整ハンドル] をドラッグして、下図のように形を調整しましょう。



## ここまで理解できたか課題で確認してみましょう!

課題は『図形を極める | 1-1~2』です。





# 第2章 表を極める

けいせん

本章では、表の罫線の種類や色を変更する方法を中心に学びます。

#### 【完成例】



次ページから、手順に沿って作成していきましょう。

# 第3章 ヘッダーとフッターを活用する

本章では、主にヘッダーとフッターを活用する方法について学びます。

### 【完成例】



次ページから、手順に沿って作成していきましょう。

### ● 文書を編集する

- ① ワードを開いて、新規文書を用意しましょう。
- ② 下図のとおりに、ワードアートを挿入しましょう。

挿入時のデザイン・・・・ 最上段、左から 1 列目

文字の塗りつぶし…… [薄い青]

文字の輪郭・・・・・・ 「白、背景1]

線の太さ………… [1 pt]

フォント・・・・・・ 「HG 創英角ポップ体】

文字サイズ····· [60]



- ③ 下図のとおりに、画像を挿入しましょう。
  - 挿入する場所・・・・・ 11 行目あたり
  - 挿入する画像・・・・・・ USB メモリ内の「アルバム1」
  - サイズ・・・・・・・ 幅 [100 mm]



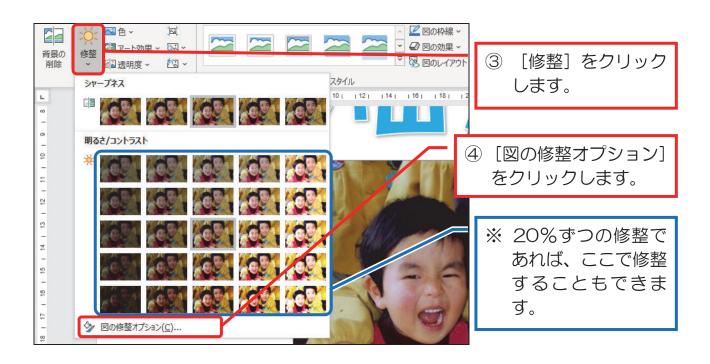
### 3-1 画像の明るさとコントラストを調整する

画像の明るさとコントラストを調整します。

挿入した写真の明るさとコントラストを少し強くしてみましょう。



- ① 設定したい画像を選択します。
- ② [図の形式] を クリックします。
- ※ 2013は [書式]

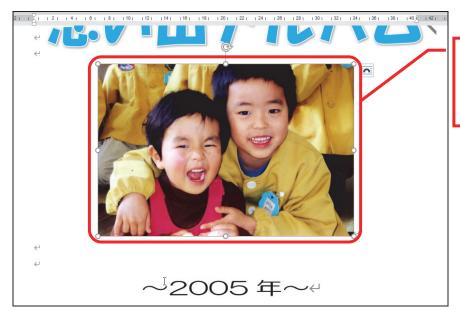




- ⑤ 明るさと コントラストの 変更後の数値を 各欄に入力します。 例:明るさ 20、 コントラスト 10
  - ※ 単位(%)は 省略できます。



⑥ [×] をクリックして設定画面を閉じます。



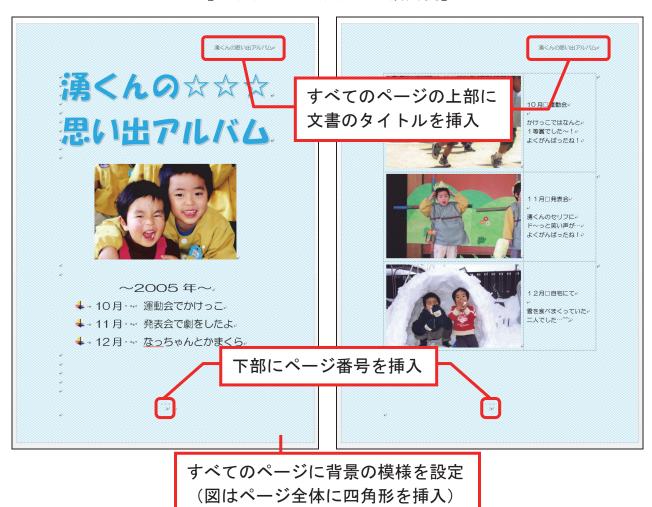
⑦ 明るさとコントラ ストが変更され ました。

## 3-6 ヘッダーとフッターとは

「ヘッダーとフッター」とは、ページの上部(ヘッダー)と下部(フッター)に ある領域で、ここに入力した情報はすべてのページに表示されます。

ヘッダー・フッターは、下図のような活用例があります。

### 【ヘッダーとフッターの活用例】



上図のような情報はヘッダー・フッターを使わないと、全部のページに1ページ ずつ入力することになるので大変です。

ヘッダー・フッターを利用すれば、入力が1度だけで済みます。

ヘッダー・フッターの領域は、専用の画面に切り替えることで表示されます。 切り替えると、文書の上部と下部にヘッダーとフッターの領域が表示されます。



### <切り替えた後の画面>

通常は、この領域内に文字を入力して利用しますが、背景のようにページ全体の 背面に配置させるものは、ヘッダー・フッターの領域を無視して配置します。

### 【ヘッダーとフッターのまとめ】

- ・ヘッダーとフッターは同じ情報を、全てのページに差し込む機能
- ・文書上部の領域を「ヘッダー」、下部の領域を「フッター」と言う
- ・通常はヘッダー、フッターの各領域に情報を入力するが、ページ全体に配置する背景など、必ずしもその領域内に収めなければならないわけではない

# やさしく楽しく学ぶ ワード上級(1)

発行日 2019年 3月10日 第1版 改訂日 2019年 7月17日 第2版 改訂日 2020年 8月13日 第3版 改訂日 2021年10月 8日 第4版

編 著 ハッピーテキスト 発行所 ハッピーテキスト 〒492-8253

愛知県稲沢市奥田神ノ木町 21 番地 https://www.happy-pctext.com/

印刷所 有限会社 テスコ